

次世代に誇れるふるさと栗山を目指して



栗山町長 椿原 紀昭

開祖・泉麟太郎翁をはじめとする偉大な先人が、雪解けの水が渦巻く夕張川を渡り、阿野呂原野に開拓の鍬を入れて120年。本計画の初年度はその記念すべき節目となります。先人の営みは困難の連続でありましたが、清貧の中に情熱を持ち、仲間を信頼し、協働でこの地を拓いて来られました。そして現在まで、町の歴史をつなぎ、それぞれの時代に対応したまちづくりが進められ、昭和46年からは4期にわたり長期総合計画を策定し、町民生活を支える社会資本の整備など、今日ある町の礎を築いてまいりました。

しかし、時代の変化とともに町が直面する課題も変わり、社会情勢が急速に変化する現在では、人口減少・少子高齢化の影響はもちろん、長引く景気低迷など、厳しい経済情勢の中で、町の財政運営は極めて厳しい状況にあります。また、国の三位一体改革の推進など、中央集権から地方が主役の分権時代を迎え、地域の自律と責任によるまちづくりが求められてきております。

本計画はこの転換の時代に対応し、直面する諸課題に対応するため、まちづくりの新たな指針として策定いたしました。策定の過程では町民参加を最重視し、多様な町民の皆様との対話、提案型のワークショップ形式による議論、町民会議による提言、そして4ヶ月にわたる総合計画審議会の慎重審議など、町民の主体的な計画づくりに努めてまいりました。また、栗山町議会基本条例に基づく一般会議を経て、町議会からの提案もいただきました。この計画は、町民・議会・行政それぞれが責任と役割を認識し、次代への目標を共有した結果として完成したものです。これらの対話を重ねた合意形成こそが、夢や希望に挑戦できる力になるものと考えます。

今回、町民の皆様との議論により生まれた、まちづくりの合言葉「ふるさは栗山です。～人・自然・文化・産業のつながりで創るまち～」には、まさに人を起点とし、歴史や文化が育んだ町民による地域に根ざしたまちづくり、「次代に誇れるふるさと栗山」創造への想いが込められております。

本計画の7年間、町財政の健全化を重要課題とするとともに、同時に町に愛着と誇りを持つ町民による個性的なまちづくりを進める「維持可能な自律した地域自治の確立」の観点に立ち、真の豊かさに恵まれた故郷づくりの実現に向けて邁進していきたいと考えております。

最後に、貴重なご意見、ご提案をいただきました町民の皆様を始め、熱心なご審議をいただきました総合計画審議会委員ならびに町議会議員の皆様にご心より御礼申し上げます。次世代を担う子どもたちのために、今後とも計画の実現に向けて、いっそうのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月



栗山町紋章

前進的で力強い「く」の字が将来の発展を示し、簡潔に栗山を表徴しています。

- 昭和38年6月制定 -

町民憲章

わたしたちは、夕張川の流れとともに、
たくましく先人の夢を育て、輝く未来を築く栗山町民です。

1. 健康につとめ、笑顔あふれるまちをつくりましょう。
1. きまりを守り、住みよいきれいなまちをつくりましょう。
1. 親切をつくし、心のふれあうまちをつくりましょう。
1. 仕事にはげみ、生きがいのあるまちをつくりましょう。
1. 郷土を愛し、文化豊かなまちをつくりましょう。